

## 世界平和にするための一歩

物部小学校六年 塩塚 心々奈

八月六日午前八時十五分、たった一発の原子爆弾によつて広島の街から先ほどまであふれていた笑顔や笑い声が一しゆんにして消えさり、さけび声やうめき声に変わつてしまつた。この一発によりたくさんの人が傷ついたり亡くなつたり生きのびられた人も放射線や後遺症によつて一生苦しめられることになつた。

私は広島の平和学習で戦争のおそろしさを学んだ。一番心に残つたことは何の罪もない人々が戦争によつて体だけでなく精神面も傷つけられていたということだ。とても納得がいかなかつた。また平和記念公園へ行つたり平和記念資料館へ行つたりすると自分がまるで戦争体験したかのような気持ちになり、胸がしめつけられたようだつた。実際これが目の前で行われたら・・・考えるだけで怖くなつた。でもこの光景・体験をしても、力強く生きられていた方がいふると知つてすごいと思つた。私もしこんな体験をしたら悲しくなつて、前を見られず生きられないと思う。しかし当時の人は子供でも「何とか生きよう」と思い働いて家族を養おうと必死だつた。この行動を見て強く心が打たれた。私もあきらめかけそうになつたとき思い出してこの子たちの分までがんばろうと思つた。戦争はとても頭では考えられないようなことがこの世界で行われていたといふ

ことだ。今このしゆん間も世界のどこかで、あのとても恐ろしい光景が広がつてゐる。そのせいで誰かを傷つけてゐるのだ。今自分が世界にこの光景を二度と広げないよう、世界平和にするために、できることを真剣に考えていかなければいけないと強く思つた。

日本は世界で唯一の被爆国だ。もう二度と世界にこの悲さんな事態を招いてはいけない。この被爆の悲さんさを世界に伝えていくのが私たち日本人の役目なのだと感じた。今すぐにこの世界中にある戦争を止めることはできない。しかし新たな戦争をおこさないようにしてあの悲さんな出来事を二度とくり返さないことはできる。他にも募金活動や平和式典に参加・平和ポスターを書くなど地道なこゝから世界平和への道は切り開かれる。小さな一歩だが、やがてそれは地球を変えられるほどの大きな一歩になるはずだ。私は二度と戦争が起こらないように今まで戦争体験者の人たちが守り、伝えてくれた事や物そして、

「平和な世界になるように。」

という思いを引きついで未来に伝えていきたいと思つた。また戦争は自由もうばつていく。私は今回で、今ある当たり前のすごさに気がついた。今ある本当は当たり前じゃない当たり前に毎日感謝をしながら小さな「世界平和にするための一歩」をふみ出していきたい